

第6回 名寄市総合計画審議会

日時：令和4年8月3日（水）

18時30分～20時10分

場所：駅前交流プラザよろーな 1階大会議室

1 開 会

石橋総合政策部長より開会。

2 会長挨拶

今井会長より挨拶。

3 議 事

後期基本計画主要施策について（基本目標Ⅱ-2、Ⅲ）

担当部局より説明。

【質疑応答】

Ⅱ-2 地域医療の充実

委員：クリニック等の家庭医・かかりつけ医がないと安心した生活につながらないため、開業医誘致について今後も継続的に強化していただきたい。その内容について追記いただきたい。

担当部局：新たな開業医誘致が進まない状況にあるが、今後の医療の在り方として、かかりつけ医と高度医療を担う総合病院の分担が進められている。地域において日常的に診療が可能なかかりつけ医の誘致は、今後市立病院の運営を考えたも必要不可欠である。担当部局（保健センター）と情報共有し、文言の整理を行う。

Ⅲ-2 循環型社会の形成

委員：主な成果指標の目標値が基準値よりも下回っているのはなぜか。

担当部局：数値の根拠は、広域で作成している一般廃棄物処理広域化基本計画によるものである。将来の人口推計を基に廃棄物のシミュレーションを行っているため、人口減少により目標値も減少している。また、再生資源集団回収事業実績

に関しては、デジタル化の推進などにより古紙が減っているため目標値も減少している。

Ⅲ-9 都市環境の整備

委員：「都市計画マスタープラン」や「名寄市立地適正化計画」は重要な計画であるが、内容については特に触れられていない。別途添付するなどして、市民に分かりやすく示した方が良いのではないか。

担当部局：あくまでも総合計画の基本目標であるので、市民にわかりやすく、広く記載している。個別・具体的な計画では詳しく記載をさせていただいている。

Ⅲ-10 上水道の整備

委員：上水道未整備地区の住民には整備に対する期待感がある。いつ頃を目途に整備されるのか、方向性を示してほしい。

担当部局：使用料収入や給水人口の減少、水道料金の高騰等の現状があり、各地区の整備計画はあるものの実際の整備には至っていない。今後料金改定の際に整備を含めた検討を行い、説明していきたい。

Ⅲ-11 下水道・個別排水の整備

委員：人口減少に伴い健全化を推進するという方針だが、期待を持たせすぎている書き方と感じる。健全化には努めるものの水道料金は上昇するという書き方とする方が市民理解が得られやすいのではないか。

担当部局：耐用年数を超えた設備について、人口減少に伴い規模を縮小させながら更新を行うという効率化の意味も含んでいるため、「効率化を図る」という目標を設定している。いただいたご意見を踏まえ、内容を再度検討したい。

委員：水道を利用していない住民からすると、季節によって、地下水の水圧が弱く使えなくなったり、虫が出てくる場合もあることから、安心安全な水道を供給することも考慮していただきたい。

担当部局：ご意見を踏まえ、内容の見直しを検討していきたい。

Ⅲ-12 道路の整備

今井会長：6月17日に行った審議会において、「市道除雪に供する民有車は危機的な状況にある」という件について、改めて現状を確認いただいて計画案を作成し

てほしいとの事前ご意見があった。

担当部局：請負業者に貸与している市所有の除雪機械は15台であり、老朽化が著しいためほぼ1年に1台更新している。現在未更新の6台について、後期計画期間内での更新を計画している。民有車の老朽化についても課題として把握している。

委員：18線橋の補修について、各町内会長で要請をした経緯があるが補修が進まない。現状を教えていただきたい。

担当部局：長い間通行止めとしており、周辺住民には迷惑をかけている。現在実施設計の段階であり、補修を行い長寿命化を図る予定。令和5年に河川協議を終えた後、令和6年から修繕を進めていく予定としている。

委員：橋桁もだいぶ古くなっているが、架け替えではなく補修なのか。

担当部局：橋としての強度を保てるという結果が出たため、今あるものを活用するという方針。

Ⅲ-13 地域公共交通

委員：主な成果指標にある多様な交通手段の検討について、どのようなものを想定しているか。

担当部局：電話やアプリで目的地と自宅を伝えたと送迎してくれるシステムが全国的に導入されている。この案に限ったことではないが、新たな交通モードの導入について検討を進めている。

委員：子どもから高齢者まで利用できる想定か。

担当部局：免許を持たない人が利用対象と想定をしているが、今後さらなる調査・研究を進めていきたい。

委員：宗谷本線の存続について、便数の確保など踏み込んだ形で記載してはどうか。

担当部局：宗谷本線については北海道全体の問題となっており、1自治体の計画の中で便数維持を目標とすることはかなり難しい。名寄市も加入している宗谷本線活性化推進協議会は現在27の自治体と商工会議所などで構成されており、その中で利便性の向上や利用促進等に取り組み、いただいたご意見を広域的な活動に活かしていきたい。

全体

委員：消防団の訓練中に、車両から水が出ないことがあった。また、水道や公共交通について公平公正の話があったが、アンケートによる市民満足度は道路・除雪・公共交通がワーストである。行政が積極的に取り組むべき事業であるが、市民に過度な負担がかかっていないか、確認していただき、必要に応じて基金の活用も含めバランスを考えた財政運営に取り組んでほしい。

担当部局：財政運営について、名寄市での基金は、それぞれ用途が決まっており、今後公共施設の再配置や建て替えなど、余裕がある状況ではない。建設資材の高騰もあるため、市民に過度な負担とならないよう、理事者と議論しながら計画的に進めていく。そのための指針となるのが総合計画である。いただいた意見を踏まえながら作っていくので、今後のご意見をいただきたい。

委員：総括的な意見は総括的な審議の際にしてはどうか。

委員：今後の全体スケジュール等あれば示していただきたい。

事務局：次回は8月18日(木)に開催。ご指摘があったⅡ-2、Ⅲ-10、Ⅲ-11の修正案および、基本目標Ⅳ、Ⅴを審議いただく。その後8月29日(月)に第8回目として重点プロジェクトのKPIおよびSDGsの検証を行う予定。

委員：

4 その他

事務局より説明。

次回は8月18日(木)による一なで開催。

5 閉会

今井会長より閉会。

[会議資料]

資料 基本目標Ⅱ-2、Ⅲ-1～13